

ボランティア活動

私は、最近ボランティア活動をしました。そこでは、お年寄りの方と触れ合ったり、外に出て草取りなどを行いました。今回の活動で、たくさんの方を教わりました。一つ目は、草取りの時に感じたことで、私は、家の草取りは時々しかないもので、やったことのないところをしてみると多くの人の感謝の思いが伝わってきました。そして、きれいになったことで、自分の気分も良くなりました。

二つ目は、お年寄りの方達と接した時に感じたことで、はじめは「何を話せば良いんだろうか」とか「何を話せば良いんだらう」と思っていました。でも、介護士の方の助けがあり、お年寄りの方から話しかけてくださり、話すきっかけができました。その後の食事のときにも、同じ目線で届くように話したりして、とっても楽しかったです。

このように私は、ボランティアに行つて感謝の気持ち、



コミュニケーションの大切さを感じました。そして、ボランティア活動というのは、言われて動くのではなく、自分から動くことに意味があることが分かりました。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第7回—

ボランティア活動



僕たちの学校では、ボランティア活動をがんばっています。「ボランティア手帳」をつくって、ボランティアをしたら内容を書いて記録しています。

僕は、6月に初めて地域の空き缶拾いのボランティアに参加しました。

自分が普段通っている道路のわきや、公園、畑のそばなど身近な場所をよく見るとたくさんのゴミが捨てられていました。

なぜ、ジュースのからやゴミを捨てたのか。どんな気持ちで捨ててしまったのだろうか考えてみました。

人通りが少ない場所の方が、ゴミが多かったのです。捨てた人は「まあ、いいや」という気持ちでゴミを捨てているのだと思います。

人が見ていなくても、ルールを守って自分たちの町をきれいにしなければいけません。

そして、家や学校でも、自分の使ったものを元に戻すことをきちんとし、気持ちよく生活したいと思いました。

空き缶拾いをみんなと一緒にしているときに、「地域の人で毎年拾っているけど、なかなかゴミが減らない」と言われていたので、また来年もボランティア活動に参加していこうと思います。